

令和6年 新春のごあいさつ

謹賀新年



明けましておめでとうございます。旧年中は市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したことに伴い、地域に活気が戻った年となりました。3年以上にわたるコロナ禍において、医療現場を支えた医療従事者の皆様や生活を支えたエッセンシャルワーカーの皆様をはじめ、市民一体となった取り組みに深く感謝申し上げます。

一方で、物価高騰は私たちの生活に大きな影響を与えております。地域経済を維持・発展させるために、関係機関や団体と緊密に連携し、必要な対策を講じてまいります。

昨年8月の台風6号接近時には線状降水帯が発生し、1時間当たりの降水量が観測史上最大となる猛烈な雨に見舞われ、甚大な被害がありました。市では、昨年10月に消防や自衛隊などの関係機関と訓練を行い、改善すべき課題を認識しました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりませんので、市民の皆様の安心安全を確保するために、さらなる危機管理体制の充

実に努めてまいります。

昨年10月に開催された宮崎県畜産共進会におきまして、肉用種牛の部と枝肉の部で本市の出品牛がグランドチャンピオンを獲得しました。生産者や関係機関の技術力や情熱の高さと併せて、後継者が着実に育っていることを感じた大会となりました。未来を担う後継者が安心して夢と希望の持てる農畜産業となるよう、関係機関と一体となって取り組まなければならないと考えております。

市民参加型の「ハッシンコバヤシ!!」プロジェクトにおいて、本市出身で著名な方を「こばやしスベシヤルPR大使」に任命するなど、本市の魅力を全国に発信しております。歌手や俳優などとして活躍するTHE RAMPAGE吉野北人さんが小林の魅力を伝えるPR動画は、公開から約4カ月で2500万回を超えて視聴され、多くのファンが「聖地巡礼(ロケ地巡り)」に訪れるなどの効果がありました。また、お笑い芸人の蛙亭・イワクラさんは、全国放送のテレビ番組で本市の魅力を伝えていただいております。今後も、小林市を市外・市内両面から盛り上げるプロモーションにより関係

人口を増加させ、多くの方に愛され応援されるまちづくりを目指してまいります。

本市の最重要施策「健幸のまちづくり」を総合的に推進するための「健幸のまちづくり拠点施設」は、今年中に実施設計が完了し工事に着手する予定であり、体育館機能や健康づくり機能、子育て支援機能などを備えた複合型施設として令和8年3月の完成を目指します。老朽化した公共施設の更新と施設保有量の縮減を同時に実現する事業でもあります。市民の皆様への誇りとなり、健幸づくりがより一層進む施設となるよう着実に整備に取り組んでまいります。

本年の干支である「辰」は、天高くのぼる龍として「隆盛」の象徴といわれております。小林市が大きく発展し、市民の皆様がさらに元気に笑顔で暮らせる年となるよう、今後も対話を重ね決断する市政運営に努めてまいります。

結びに、本年も市政各般にわたりご支援・ご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げますとともに、皆様におかれましても、素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

市民が元気で笑顔になれる

小林市を目指します。

小林市長 斎原 義久

